

2月2日、佐賀県鳥栖市にある九州龍谷短期大学が2025年度以降の学生募集停止を発表されました。昭和27年の発足以来、70有余年にわたって伝統を継いでこられ、私ども旭学園とは、子ども達の教育環境の整備や佐賀県への地域貢献を目指して共に歩んできました。それだけに、決断された佐賀龍谷学園の理事会・評議員会の皆様、九州龍谷短期大学の学長先生はじめ教職員の皆様の御心痛を思うと言葉になりません。また約9000人の卒業生の皆様、九州龍谷短期大学への入学を目指しておられた生徒の皆様の落胆はいかばかりかとお察しいたします。

2日付けの九州龍谷短期大学 HP によりますと、募集停止の理由として18歳人口の減少や四年制大学志向など近年の社会状況の変化が挙げられています。一方で佐賀県の短期大学が減るということはまず介護福祉士、保育士など地域の福祉や教育を支える人材の減少を招きます。特に介護福祉士は現在、定員の7割～8割をミャンマーやネパールなどの外国人留学生に頼っているのが現状です。2年で資格がとれることから、四年制大学は選択しません。また福岡など都会の介護福祉士や保育士の給与は佐賀よりも高いため、都会で学んだ学生が佐賀にやって来るといったことはほぼ期待できません。地元で大切に人材を育て、根付いてもらう、これしか地方に人材を残す術はないのです。就職先を県外に求める学生がいても、育てた何割かが佐賀に残ってくれば。そのような思いで、教員や介護施設は学生を育てています。私どもも養成校として待遇の改善などを求めてまいりますが、皆様には、この様な状況をご理解いただき、短大をご支援頂きますと共に、「介護や保育は人に感謝される素晴らしい仕事だよ」ということを是非幼き人達にお教えください。地域と共に生き、地域に貢献する。私共はこの思いで学校を守ってまいります。